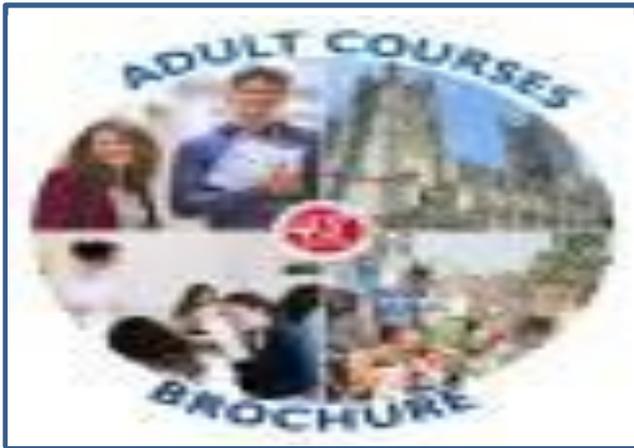


OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) N.M.
所属 (School) 地域保健学域
総合リハビリテーション学類
学年 (Grade) 1年
留学先 (Name of overseas institution)
コンコルドインターナショナル
留学期間 (study abroad period)
2021/03/15~2021/03/26

留学レポート Study Abroad Report

こんにちは。この留学に参加した理由と、内容、反省とアドバイスをお伝えしたいと思います。今回は私にとって二回目のオンライン留学だったので、二回経験して考えたことも記します。

理由1

・TOEIC などを取得していなかったことです。お恥ずかしながら学業などの忙しさのあまり英語学習へのモチベーションが下がってしまい、とても英語資格を受験する気にならなかったのです。それでも春休みになると留学に参加したくなり、英語要件を必要としないこのプログラムに決めました。

理由2

・色々な英語に触れたかったことです。すでに一回生の夏にカナダでの留学(カナダ・ビクトリア大学語学研修)に参加したこともあり、いろいろな背景を持つ先生や生徒と交流してみたかったので前回とはあえて違う国のプログラムを選択しました。

ちなみにカナダの先生の英語はかなりアメリカ英語に近く、イギリスの先生の英語はイギリス英語でして、こちらはかなり聞き取りやすいものだったと思います。表記通りの発音に近いというか、ローマ字的な感じがします。

生徒に関しては、前回のものでは日本人の学生が半数を占めており、数も30人程度いましたが、今回は3人しかいなかったこともあり、日本出身は私だけで、生徒同士の交流で困ったときに日本語を使うわけにもいかなかったのですが、それぞれの地域の流行や伝統などを知ることができました。

理由3

・日程の都合がつけやすかったことです。学業が長引き、申請できる期間ができる限り引き延ばせるプログラムでないと参加できなかったのです。その上、一週間単位で期間を選択できるので長期休みにも予定が詰まっている方にはいいのではないかと思います。

授業内容

・形式：先生1人と生徒2人の対面授業(イギリスのコンコルドインターナショナルで行われているものと思われます)に私がZoomを通して参加するものでした。テキストやインターネットの画面を画面共有で提示してもらったりして参加しました。Zoomを通して対面の生徒2人と同じ内容の授業を受けることができました。

・内容1

授業そのものではない部分を説明します。一番初めの授業では自己紹介をしました。今日(休日)はどのような日だった、とか休憩時間はどうだった、ということが必ず聞かれました。休憩時間に食べた料理や大学での専攻、サークル活動やアルバイトなどたくさんのお話を聞けました。日本特有のものについては写真などを用いると説明しやすいかと思います。その際はZoomの共有機能を使うとやりやすいです。異文化交流につながり、結構盛り上がる時間でした。

もしかするとこのような時間こそ英語を必死で使うのかもしれませんが。相手の話を聞いて居ればいいわけではなく、会話はキャッチボールなので相手の言葉を聞き逃さず、かつ自分から発言することが求められるからでしょうか。自分の趣味などを語るときに語彙が少しでも思いつかないと言いたいことが言えずいろいろすることもありました(笑)。それでも先生や生徒は私の拙い英語に嫌なことをすることなく聞いてくれました。

・内容2

授業の本分はどうだったかと言いますと、その主な目的は文法事項を確認することにあつたと考えています。やり方としては、一つの物語の中にいくつかの文法が用いられており、初めにトピックに関係する写真などを見て議論をします。次に、リスニングやリーディング、ディクテーションなどを通して話の流れを確認

した後、文法問題を解きます。なお、授業外の課題はありませんでした。

英語のレベルについて

授業の前にプレテストが用意されているので英語が苦手でも心配はいらないと思います。先生の英語はとて聞き取りやすく、テキストも難しすぎないものだったので英語に自信がないことを理由にあきらめるのはもったいないです。もしかすると TOEIC800 点以上などの人には物足りないかもしれません。(参加するクラスにもよりますが…) 最初にこのプログラムに参加してモチベーションを上げて勉強した後、もっと本格的に英語を学べるプログラムに参加する、という計画を立てるのも手でしょう。

良かった事: 何よりも英語学習へのやる気が上がった事です。英語で話すことにストレスを感じないので英語を学ぶのはこんなに楽しいことなんだ、ということ思い出させてくれました。聞き取りもしやすかったので(まず相手の話が分からなかったら答えようがなく、これも十分躊躇いにつながります。言いたいことが言えない、の前に何を言っているのかが分からないことへの戸惑いが立ち塞がります。) 英語を話すことへの恐怖がかなり払拭され、とりあえずスピーキングにはもう語彙や文法を身に着けることだけである、と確信しました。前回参加したプログラムのように劣等感を糧に勉強する(英語があまりにもできすぎて留学など必要ないだろう、と思われる生徒たちに必死でついていきました。) のも一つですが、楽しさを基にしてもいいのだ、ということ学びました。もう一つはオンライン留学すべてに言えることかもしれませんが、現地でのものより断然気楽に参加できることです。新型コロナウイルス感染症の影響もあって現在海外に飛ぶことが難しいですが、逆にオンラインという手段が用意されたことで留学がぐっと身近になったと思っています。費用はもちろんそうですが、荷物をまとめる必要もないし、健康や治安を心配する必要もないのですから。

良くなかった事: 一つ挙げるとするなら音声の反響がひどく、数回の要請にも関わらずなかなか改善されなかったことです。

反省とアドバイス

・語彙を身につけられていなかった事です。英語を勉強する気が起きなかったので仕方がないと言えるのかもしれませんが、それにしても日常の会話で使う英語は受験英語や TOEIC の英語とはあまりにもかけ離れています。後者はビジネス向けなので当然ですが、前者はある意味ガラパゴス化しているものと思われます。Academic English だともう少し近づくかもしれません。府大生がよく触れると思われる英語を挙げてみましたが、どれも日常の英語とは程遠いのでこれに関しては特別に勉強が必要と思われます。どう学ぶかといえますと、やはりネイティブが日常的に読む・聞くものに触れるのが良いのでしょうか。私は今のところ Yahoo!UK や字幕付きの英語のアニメや映画を利用しています。Twitter などを使っている方は英語で投稿することで英語話者となつたりしやすいと思います。SNS の英語もスラングがきついですけど分量は少ないし、日常の英語の一つには違いないのでいい教材かもしれません。最近、私はそれほど英語学習にストイックになれず、趣味と関連付けないとなかなか続けられないことに気が付いたのであえて単語帳を使うなどの方法は載せませんでした。学業をおろそかにしたくないし、バイトもサークルもしたいとなると英語は趣味の範疇にしないと大分しんどくなるように思います。

最後に

・ここまで読んでくださってありがとうございました。一刻も早くコロナが終息し、安心して現地への留学ができる日を心待ちにしながらオンライン留学を利用する人が多いと思います。どうぞこの機会を利用して語学学習を充実させてください。皆様の英語学習が良いものになることを願っています。